



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R7 年度 CS通信No.5 R7.7.15



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 西海小児童が「カシ禰宜」体験学習会(7/4)



新町では、昔から白八幡宮大祭に山車を作らず、こどもたちがカシ禰宜を演じてきました。

この日は、新町町内会の方々が来校し、カシ禰宜の伝統文化をこどもたちに引き継ぐために、体験学習会を行いました。

初めに、カシ禰宜の演技をビデオで見ました。

次に、カシ禰宜の登場人物である「太夫」と「禰宜」、そして、鉦や太鼓など挑戦してみたい役割のところにこどもたちが集まりました。

新町町内会のみなさんは、それぞれ役割を分担して、「太夫」と「禰宜」のセリフを詠み合わせさせたり、実際に鉦や太鼓を叩かせたりしました。

前太鼓の練習では、大太鼓の合図で、太鼓や鉦の演奏が始まり、「イヤ」のかけ声もそろっていききました。新町町内会の皆さんに話を聞くと、

「カシ禰宜の鉦や太鼓を叩くのは、初めての子がほとんどだと思いますが、たいへん上手にできました。花丸です。」と、話していました。

## 舞戸小3年生がりんご学習会(7/7)



SATO FARMの佐藤恵美さんは、りんご学習やりんご作り農業体験等を通して、農業への関心を高めたり、農業の楽しさ等を伝えたりする活動をしています。

この日は、ふるさと学習の五本柱の一つである「町の営み」を学ぶために、佐藤さんを講師に、教室でりんご学習会を行いました。

佐藤さんは、まず、自作の絵本を使って、こどもたちにりんご作りの関心を持たせていました。

実すぐりをしてりんごが大きくなるように工夫していることやお日さまからりんごが赤くなるパワーをもらう話を聞いて、こどもたちは、たいへん勉強になったようでした。

次のクイズでは、りんごの種類が、青森県で50種類、日本で2000種類、世界で15000種類あることや、りんごがバラ科の植物であること、農業を効率的に散布するために使われるスピードスプレーヤーという機械が1000万円もするという話を聞いて、驚きの声を上げていました。

また、りんご畑で働くロボットがあり、それぞれに名前があることを知り、こどもたちは大喜びでした。

今回は、教室での座学でしたが、秋の収穫期には、りんご園での現地学習も予定しているそうで、こどもたちは、期待に胸を膨らませていました。

## 町内小学校で祭り芸能体験学習(7/8)



今年の8月14日(木)～16日(土)は、北前船が運んだ京祭り「白八幡宮大祭」が8年ぶりに開催されます。本来は、4年に一度のお祭りですが、

新型コロナウイルス感染症と大雨による災害で、二度延期となり、今年開催することになりました。

7月8日(火)は、舞戸小学校と西海小学校で、田中町町内会の協力により、祭り芸能体験学習が行われ、祭りへの機運を高めました。

まず、男の子の踊りである「チャンチャレンコ」のお囃子の鉦叩きを行いました。

「ヨイハー」のかけ声で始まり、「エンヤ」のかけ声を途中で入れます。こどもたちは、町内会の方々が叩くのを見ながら、上手に叩いていました。

その後、質問コーナーがあり、こどもたちは、たくさんを知ることができました。

山車で鉦を叩く人数が3人であること、祭りは340年も前から行われていること、山車の人形は、町内ごとに異なり、昔の偉い人を人形にしていることもわかりました。

次に、白八幡宮大祭の年でない年に開催されていた鰯ヶ沢のねぶた祭りについて学習しました。

ねぶたのお囃子には、行きの囃子、もどりの囃子、喧嘩太鼓があり、それぞれにかけ声があることが分かりました。特に、喧嘩太鼓では、「それ」のかけ声や太鼓の強弱で大変盛り上がり、こどもたちは、思い思いに体を動かして楽しんでいました。

とても充実したふるさと学習の時間となりました。

### 鯨中3年鰯ヶ沢フェニックス計画3rd(7/10)



今回は、MINECRAFT(マイクラ)を使って、町の再開発を目的に、仮想的な空間を作って発表しました。12のグループがそれぞれ、水族館、映画館、レストラン、おみやげ店、運動施設、ホテル等を組み合わせ、みんなが再び来たくするような空間を協力して作っていました。特に、鰯ヶ沢の課題を再確認して、鰯ヶ沢にしかできない特徴のある町づくりをしようと頑張りました。

発表後、阿彦教育長から、鰯ヶ沢の魅力をどのように生かすのか、町の現状を分析することが大事である等のアドバイスがありました。

### 舞戸小で伝統の校内相撲大会開催(7/11)



相撲大会は、町相撲協会をはじめとして、五農相撲部、地域の方々、保護者が、朝早くから準備、協力して行われました。

6月に実施した相撲礼法指導のあと、こどもたちは、玄関ホールに設置した相撲マットで自主的に練習し、力をつけてきました。特に、1年生は、初めての相撲に興味・関心を持って意欲的に練習に取り組んだそうです。

さて、相撲大会の方は、どちらが勝つかわからない熱戦が続き、会場は、最後まで大歓声に包まれていました。

最後の大会となる6年生に話を聞いてみると、「今までの相撲大会の中で、一番おもしろくて盛り上がった。楽しかった。」

と、話していました。

校内相撲大会は、今後も続き、地域の伝統文化が引き継がれていきます。

### 鯨中全校行列体験学習会(7/11)



今年開催される白八幡宮大祭では、神興渡御行列に中学生が参加します。この日は、中田総括学芸員を講師に、神興渡御行列の編成について学んだり、代表の生徒が実際に衣装を着たりする体験をしました。

衣装の着付けには、地域の方々3名と町役場職員3名が手伝いをしました。

行列体験学習会を行うことによって、生徒は、神興渡御行列の準備の流れを知り、祭りのイメージを抱くことができました。